

# 週報

日本基督教団 翠ヶ丘教会

since 1964

## 2025 年度年間聖句

「良い土地に蒔かれたものとは、  
御言葉を聞いて悟る人」  
(マタイによる福音書 13 章 23 節)



### どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝 毎日曜日 午前 10 時半  
子どもの教会 毎日曜日 午前 9 時～10 時  
祈 禱 会 各水曜日  
○昼の聖書研究祈禱会  
(第 3・午後 2 時)  
●夕の祈禱会  
(第 2、第 4・午後 7 時)

牧 師 井 殿 準  
協力牧師 堂 本 陽 子  
協力牧師 井 東 炤

〒 252-0312 相模原市南区相南 2-25-65  
TEL. 0 4 2-7 4 2-1 5 9 3  
FAX. 0 4 2-7 4 2-1 3 9 3  
ホームページ: <http://www.midorigaoka.jp>  
郵便振替口座 日本基督教団翠ヶ丘教会 本会計  
0 0 2 9 0-4-8 0 7 0 7

# 3199 2026 年 3 月 1 日

## 礼拝式順序

(受難節第 2 主日)

司式者 井 殿 準  
奏楽者 黒 田 理 佳

前 奏		奏 楽 者
招 詞	ヨエル 2 : 12 ~ 13a	司 式 者
讃 美 歌	3 0 0 「十字架のもとに」	一 同
聖 書	マルコ 3 : 2 0 ~ 2 7 (新 P. 66)	司 式 者
使徒信条	( 9 3 - 4 - A )	一 同
祈 禱		司 式 者
讃 美 歌	1 5 3 「幸いな人」	一 同
説 教	「愛の主を誇る」	司 式 者
祈 禱		”
讃 美 歌	4 8 4 「主われを愛す」	一 同
聖 餐 式		司 式 井 殿 牧 師
讃 美 歌	7 6 「今こそ歌いて」(1,4,5 節)	一 同
献 金		”
主の祈り	( 9 3 - 5 - A )	”
頌 栄	2 4 「たたえよ、主の民」	”
祝 禱		司 式 者
答 唱	4 0 - 6 「アーメン」	一 同
報 告		司 式 者
讃 美 歌	9 1 「神の恵みゆたかに受け」	一 同

- ・当教会では讃美歌 21 と新共同訳聖書を使用しています。お持ちでない方は受付に常備されているものをご使用ください。
- ・立ち座りのご不自由な方はどうぞ着席のままお臨みください。
- ・FM電波による補聴器が用意されています。受付に常備してありますのでご利用ください。

先週の説教要旨  
「主人は帯を締めて」

(ルカ 1 2 : 3 5 ~ 4 0)

讃美歌 21 の 60 番の 3 節に「よいこになれないわたしでも かみさまはあいしてくださるって、イエスさまのおことば」とあります。よい子になったから神に受け入れられるのではなくて、よい子じゃなくても神は受け入れてくださっているというのです。神を知らなくても、信じていなくても、既に神に愛され、救われているということでもあります。では、キリスト者として生きる意味はどこにあるのでしょうか。

その答えが 37 節にあるように思うのです。《主人は帯を締めて、この僕たちを食事の席に着かせ、そばに来て給仕してくれる》。主人がいつ帰って来ても、食事の用意が出来るようにしておきなさいと言われていたわけではありません。なんと逆なのです。帰って来た主人の方が、僕たちの給仕をしてくれるというのです。居心地が悪いのですが、しかし、本当はそんなに悪い気はしない。いや何と光栄なことかという話ではないでしょうか。

起きている者、つまり信仰者にしか味わうことが出来ないことが起こる、ということなのです。確かに、信じていなくても、神に愛されてはいるのです。しかし、その愛に気がつくことが出来なければ、心の中に喜びは湧きません。だから、絶対に、その愛を知る必要があります。それを知った時に、救われているという気持ちになるからです。それが、私たちが信仰生活を続ける理由じゃないでしょうか。

私は 50 年前に洗礼を受けました。46 年前には神学部に入りました。大学院修了後、牧師になりましたが、礼拝説教等の準備の大変さを思い知らされています。元々根気がないのに、現在まで勉強に追われているのです。なんの皮肉かと思わないこともありません。しかし、それでも教会に連なり続けて来たからこそ見る事が出来た風景があります。

教会に連なっている、信仰を持ち続けているから、夜中に帰って来た主人が手料理を作ってくれているを見て、更には、ご馳走にもなれるということもあつたはずですが。楽しいことばかりではありませんが、それがキリスト者としての、教会に連なり続けている者としての恵みであり、喜び、意味なのだと思います。

<説教・岡崎 岳牧師(東京都民教会)>